



麻布幼稚園だより 11月号

平成29年10月31日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

『行事で育つもの』

園長 大島 美知代

あっという間に秋が遠過ぎてしまったように思います。陽が落ちるのも早くなりました。青空が広がり、気持ちのよい季節は戻ってこないのでしょうか。

先日は「親子運動会」に多数の保護者、ご来賓の皆様が参観してくださり、誠にありがとうございました。今教職員も終わった行事の反省を行っているところです。その話し合いの観点は○園児たち一人一人にどんな意欲や態度が育ったのだろうか○体を動かすことに対して一生懸命に取り組む姿勢が育ったのだろうか○動きや声を合わせたり、自分の力を思い切り出したり、競い合ったりすることを楽しめたのだろうか等です。教職員の反省、評価を今年度の教育活動、そして来年度のこの行事がもっと良いものになるために生かしていこうと思います。

「親子運動会」と銘うち、保護者の皆様にも園児たちと共に出場者（運動会に参加する選手）になっていただきました。開会式、閉会式にもトラック内に並び、準備体操や応援も一緒にやっていただき（応援は会場の都合で保護者席での応援になりましたが）ました。親子競技、保護者競技にも出場者として参加していただきました。園児の応援だけでなく、親も運動する楽しさ、一緒にチームで力を合わせる面白さを味わっていただきたいと考えていたからです。

保護者から感想をたくさんいただき、いろいろな点の説明が不足していたことをとても感じ、申し訳なく思いました。この「親子運動会」の意味、園児の育ち、共に出場する保護者がいる意味などを丁寧に説明することがとても足りなかったと思いました。今後、2学期後半にかけて行事が続きます。今の園庭で焼く、最後の「焼き芋会」、造形表現の指導の成果を見せる「作品展」そして「おもちつき会」、いよいよ最後の月の12月、「園庭のお別れ会」や「お楽しみ会」等の行事を予定しています。

幼稚園は子どもが最初に経験する集団生活、いわば最初の「学校」です。幼稚園の生活と家庭の生活が共に楽しく、温かく、充実した中で園児が成長していきます。幼稚園の「行事」はその見せ場でもあり、「行事」は「育ちの節目」となります。幼児教育としてどのように「行事」を考えているのか、保護者の参加の仕方、園児の育ちの見方、園児の育ちを共に喜び、成長の確認の仕方などをもっと発信していかなければなりません。

幼稚園の保育中の様子を中心にただいまブログをできるだけアップしています。どうぞご覧ください。今後は保護者の活躍についても引き続き幼稚園での様子を発信し、行事に関しても日々の生活に関しても「幼稚園が大切にしていること」をお話していきたいです。

最後に、年少組担任の病休に関して園児、保護者にお詫びを申し上げます。現在の体制がうまくいくよう、全教職員で支えます。ご理解のほど、よろしく願いいたします。